ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業
「ヒヤリ・ハット事例」の報告項目（2025 年 4 月～）

◆基本情報

発生年 ［　　］ 年

発生月

□1 月　□2 月　□3 月　□4 月　□5 月　□6 月
□7 月　□8 月　□9 月　□10 月　□11 月　□12 月

発生曜日

□日曜日　□月曜日　□火曜日　□水曜日　□木曜日　□金曜日　□土曜日

曜日区分　※今までは報告項目にありませんでしたが、追加します。

□平日体制　□休日・祝日体制

発生した時間帯

□0:00～1:59　□2:00～3:59　□4:00～5:59　□6:00～7:59
□8:00～9:59　□10:00～11:59　□12:00～13:59　□14:00～15:59
□16:00～17:59　□18:00～19:59　□20:00～21:59　□22:00～23:59
□不明

発生場所（複数選択可）　※選択項目が増えます。

□外来診察室　□外来処置室　□外来待合室　□外来化学療法室
□救急外来　□入退院支援センター　□病室　□病棟処置室
□スタッフステーション　□食堂・デイルーム　□浴室　□分娩室
□救命救急センター　□手術部
□ICU　□CCU　□SCU　□NICU・GCU　□HCU
□輸血部　□透析室
□臨床検査室　□生理検査室　□病理部・病理検査室　□薬剤部
□光学医療診療部・内視鏡室
□一般撮影室　□MRI 検査室　□CT 検査室　□RI（核医学検査）室
□血管造影室　□放射線治療室
□リハビリテーション部　□栄養部・栄養管理室　□トイレ　□廊下
□階段　□玄関・ロビー　□エスカレーター　□エレベーター
□保険薬局　□他施設　□自宅
□不明または特定できず　□その他（　　）

関連診療科（複数選択可） ※今までは報告項目にありませんでしたが、追加します。

□内科	□脳神経内科	□循環器内科	□呼吸器内科
□血液内科	□消化器内科	□内分泌代謝内科	□糖尿病内科
□腎臓内科	□膠原病リウマチ内科	□アレルギー科	□総合診療科
□小児科	□新生児科	□心療内科	□精神科
□外科	□脳神経外科	□心臓血管外科	□呼吸器外科
□消化器外科	□整形外科	□乳腺外科	□小児外科
□産婦人科	□産科	□婦人科	□泌尿器科
□皮膚科	□形成外科	□美容外科	□眼科
□耳鼻咽喉科	□リハビリテーション科	□放射線科	□救急科
□麻酔科	□ペインクリニック	□緩和ケア科	□血液透析科
□歯科	□歯科矯正科	□小児歯科	□歯科口腔外科
□その他（　　）	□不明		

誤った医療行為または管理の実施の有無 ※現在の「医療の実施の有無」からこちらに変更します。

□医療行為または管理に誤りがあったが、患者に実施されなかった

□誤った医療行為または管理が患者に実施された

仮に患者への影響が大きくなった場合の事例の程度 ※「影響度」からこちらに変更します。

□死亡もしくは重篤な状況に至ったと考えられる

□濃厚な治療・処置が必要であったと考えられる

□軽微な治療・処置が必要であったと考えられる

□治療・処置は不要であったと考えられる

◆患者情報　※２名まで個別に患者の情報が入力できます。

区分

□入院　　□外来

患者の数

□１人　　□２人　　□３人以上

【１人目、２人目】

患者の年齢　※患者の年齢が０歳の場合のみ、月齢を入力します。

[　　] 歳　[　　] ヶ月

性別

□男性　　□女性

疾患名　※事例に直接関連する疾患名にチェックを入れます。

関連する疾患名１	□	
関連する疾患名２	□	
関連する疾患名３	□	
関連する疾患名４	□	
関連する疾患名５	□	

事例の誘因となった患者の状態（複数選択可）

※現在の「直前の患者の状態」から変更し、選択項目が増えます。

□意識障害　□認知症・健忘　□精神障害　□視覚障害　□聴覚障害
□構音障害　□嚥下障害　□呼吸障害　□歩行障害　□感覚障害
□重症心身障害　□床上安静　□睡眠中　□せん妄　□薬剤の影響下
□麻酔中・麻酔後　□人工呼吸器装着中　□その他　（　　）
□特記事項なし

【３人以上】　※３人以上の情報は、上記と同様の入力項目を下記に記入します。

[　　]

◆事例に関わった職員の情報　※現在の「当事者に関する情報」と「当事者以外の関連職種」を統合します。

事例に関わった職員の人数

□1 人　□2 人　□3 人　□4 人　□5 人　□6 人
□7 人　□8 人　□9 人　□10 人　□11 人以上

【1 人目～10 人目】

事例に関わった職員の職種　※選択項目に変更があります。

□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師
□薬剤師　□臨床工学技士　□助産師　□看護助手
□診療放射線技師　□臨床検査技師　□管理栄養士　□栄養士
□調理師・調理従事者　□理学療法士（PT）　□作業療法士（OT）　□言語聴覚士（ST）
□歯科衛生士　□歯科技工士　□保育士　□事務職員
□その他　（　　）

事例に関わった職員の職種経験年数

[　　] 年 [　　] ヶ月

事例に関わった職員の部署配属期間

[　　] 年 [　　] ヶ月

【11 人以上】　※11 人以上の情報は、上記と同様の入力項目を下記に記入します。

[　　]

発見者

□事例に関わった職員　□事例に関わっていない職員　□患者本人
□家族・付き添い者　□他患者　□その他　（　　）

◆事例の概要　※変更はありません。

事例の概要

□薬剤	薬剤の処方・調剤・準備・投与の過程で発生した事例
□輸血	輸血のオーダ・払い出し・準備・投与の過程で発生した事例
□治療・処置	治療・処置の過程で発生した事例
□医療機器等	医療機器等の使用に関連して発生した事例
□ドレーン・チューブ	患者に挿入されているドレーン・チューブに関連した事例
□検査	検査のオーダ・準備・実施・結果報告の過程で発生した事例
□療養上の世話	療養上の世話に関連して発生した事例（患者の行動が関連して発生した事例を含む）
□その他	該当するものがない場合

※上記で選択した事例の概要によって、次ページからの「事例の分類」「発生場面」「種類」の項目が変わります。

※「その他」を選択した場合、「事例の分類」「発生場面」「種類」の項目はありません。

◇薬剤の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□未実施　□薬剤間違い　□患者間違い　□量間違い
□用法間違い　□経路間違い　□重複　□禁忌薬剤
□期限切れ　□有害反応（副作用・アレルギーを含む）　□血管外漏出
□その他（　　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□処方・指示
□指示受け
□調剤（薬剤部での処方監査～調製～払い出しまたは交付）
□準備（病棟・部署での内服薬の準備、注射薬の調製など）
□投与
□薬剤管理
□その他（　　）

種類

□注射薬　□内服薬　□外用薬　□その他（　　）

【発生場面が「処方・指示」の場合】

処方内容の問合せの有無

□他医師からの問合せあり
□薬剤師からの問合せ（疑義照会）あり
□看護師からの問合せあり
□他者からの問合せなし
□他者の関与なし
□その他（　　）

【発生場面が「処方・指示」のうち、患者の区分が「外来」の場合】

処方箋の種類

□院内処方箋　□院外処方箋

◇輸血の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□未実施　□製剤間違い　□患者間違い　□量間違い
□経路間違い　□同意書の取得漏れ・紛失　□血液製剤の異常　□期限切れ
□有害反応（副作用・アレルギーを含む）　□その他（　　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□オーダ・指示
□指示受け
□輸血に関する検査
□輸血用血液製剤の保管・管理
□輸血部での準備・払い出し
□投与準備
□投与
□その他（　　）

種類

□赤血球液　□濃厚血小板　□新鮮凍結血漿　□人全血液
□自己血　□その他（　　）

◇治療・処置の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□未実施　□患者間違い　□部位間違い　□方法（手技）の間違い
□不必要行為の実施　□体内への異物残存　□その他（　　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□指示　□指示受け　□準備　□実施
□実施後の管理　□その他（　　）

種類

手術

□皮膚・皮下組織　□筋骨格系・四肢・脊椎　□脳・神経系、頭蓋　□眼
□耳鼻咽喉　□顔面・口腔・頸部　□呼吸器　□心臓・血管
□消化器　□腎臓・尿路系　□生殖器　□その他（　　）

【「手術」のいずれかを選択した場合】

鏡視下手術

□はい　□いいえ

麻酔

□全身麻酔　□局所麻酔　□静脈麻酔　□脊椎・硬膜外麻酔
□その他（　　）

分娩・人工妊娠中絶

□経腟分娩　□帝王切開　□人工妊娠中絶　□その他（　　）

その他の治療・処置

□血液浄化療法（血液透析含む）　□IVR（血管カテーテル治療等）　□放射線治療
□ペインクリニック　□リハビリテーション　□内視鏡的治療
□歯科治療　□その他（　　）

ドレーン・チューブ類の挿入

□中心静脈カテーテル　□末梢静脈ライン　□動脈ライン　□血液浄化用カテーテル
□胃管 ・経鼻栄養チューブ　□胃瘻・腸瘻　□ドレーン　□膀胱留置カテーテル
□その他（　　）

救急処置

□気管挿管　□胸骨圧迫　□その他（　　）

その他の処置

□創傷処置　□穿刺　□気管切開　□酸素療法
□その他（　　）

◇医療機器等の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□保守・点検の不足・未実施　□洗浄・消毒・滅菌の方法の間違い　□未滅菌物の使用
□選択間違い　□組み立て間違い　□設定間違い
□設定不足・未設定　□接続間違い　□接続外れ
□未接続　□操作・使い方の間違い　□落下・接触などによる破損
□不適切使用　□誤作動　□耐用年数超過・劣化
□原因が特定できない破損　□不良品　□単回使用製品の再使用
□回収品の使用　□医療関連機器褥瘡（MDRPU）
□その他（　　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□保守・管理・点検　□指示　□準備
□使用　□片付け　□洗浄・消毒・滅菌
□その他（　　）

種類

□補助循環関連機器　□人工呼吸関連機器　□酸素療法機器
□麻酔器　□除細動器　□ペースメーカ・植込み型除細動器
□輸液ポンプ・シリンジポンプ　□血液透析・血液浄化関連　□吸引器
□生体監視モニタ　□歯科用関連機器　□歯科補綴物・充填物
□手術用器具・材料　□凝固・切開装置　□内視鏡
□手術関連内視鏡　□手術台・手術用体位固定用具　□カテーテル・チューブ
□保育器　□その他（　　）

◇ドレーン・チューブの事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□逸脱・迷入・位置のずれ　□閉塞　□切断・破損
□接続間違い　□接続外れ　□クランプまたは開放の間違い
□事故抜去　□患者による抜去　□自然抜去
□空気混入　□血管外漏出　□医療関連機器褥瘡（MDRPU）
□その他（　　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□指示　□準備　□処置中　□留置中

種類

カテーテル・ライン

□中心静脈カテーテル・ライン　□末梢静脈カテーテル・ライン　□動脈ライン
□補助循環関連　□血管造影・血管治療関連　□硬膜外カテーテル
□血液透析・血液浄化関連　□膀胱留置カテーテル　□その他（　　）

チューブ

□気管チューブ　□気管切開チューブ　□経管栄養チューブ
□胃瘻・腸瘻チューブ　□その他（　　）

ドレーン

□胸腔ドレーン　□腹腔ドレーン　□脳室・脳槽ドレーン
□皮下持続吸引ドレーン　□その他（　　）

その他

□その他（　　）

◇検査の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

発生場面（不具合の発端となった場面）

□オーダ・指示　□指示受け　□準備　□検査の実施
□検体採取　□検体提出・受け取り　□結果報告　□結果確認
□その他（　　）

事例の分類

□未実施　□検査機器・器具の間違い　□患者間違い
□部位間違い　□検体取り違え　□方法（手技）の間違い
□不必要行為の実施　□検体紛失　□判定間違い
□結果取り違え　□結果の確認不足　□MRI 検査時の磁性体持ち込み
□その他（　　）

種類

検体採取

□採血　□穿刺　□生検
□その他（　　）

検体検査

□血液検査　□血液以外の検体検査　□その他（　　）

病理検査

□病理検査

生理検査

□呼吸機能検査　□超音波検査　□心電図検査
□その他（　　）

内視鏡検査

□上部消化管内視鏡検査　□下部消化管内視鏡検査　□気管支鏡検査
□その他（　　）

画像検査

□X 線検査　□CT 検査　□MRI 検査
□血管造影検査　□核医学検査　□その他（　　）

その他

□その他（　　）

◇療養上の世話の事例の情報　※選択項目を見直し、全体的に変更します。

事例の分類

□未実施　□患者間違い　□方法（手技）の間違い
□不必要行為の実施　□医療関連機器褥瘡（MDRPU）　□褥瘡
□転倒　□転落　□衝突
□誤嚥・窒息　□誤飲　□異食
□熱傷　□離院・失踪　□自殺・自殺企図
□受傷機転不明の骨折　□溺水　□その他（　）

発生場面（不具合の発端となった場面）

□オーダ・指示　□指示受け　□準備　□実施
□患者の単独行動　□その他（　）

種類

□入浴　□保清（入浴除く）　□寝衣交換　□食事
□排泄　□移乗　□搬送・移送・移動　□起立動作・歩行
□罨法　□患者観察　□吸引　□体位変換・調整
□患者の物品管理　□環境整備　□面会　□外出・外泊
□その他（　）

◆関連医薬品・医療機器などの情報

※事例の概要が「薬剤」「輸血」「治療・処置」「医療機器等」「検査」「療養上の世話」の場合は、
以下の画面が表示されます。

関連医薬品

販売名	
製造販売業者	

※事例の概要が「薬剤」の場合は【販売名】は必須入力です。

※10 種類の関連医薬品の入力が可能です。

医療機器等

販売名	
製造販売業者	

※事例の概要が「医療機器」の場合は【販売名】は必須入力です。

※5 種類の医療機器等の入力が可能です。

その他の材料・物品

販売名	
製造販売業者	

※5 種類の材料・物品の入力が可能です。

※事例の概要が「ドレーン・チューブ」の場合は、以下の画面が表示されます。

関連医薬品

販売名	
製造販売業者	

※事例の概要が「薬剤」の場合は【販売名】は必須入力です。

※10 種類の関連医薬品の入力が可能です。

ドレーン・チューブ

販売名	
製造販売業者	

※【販売名】は必須入力です。

※5 種類のドレーン・チューブの入力が可能です。

その他の材料・物品

販売名	
製造販売業者	

※5 種類の材料・物品の入力が可能です。

◆事例の内容に関する情報

事例の詳細　※現在の「事例の内容」と同じです。

事例の背景・要因

発生要因（複数選択可）　※選択項目を変更・追加します。

① 事例に関わった職員の要因

□確認漏れ・不足　□観察漏れ・不足
□報告漏れ・不足　□判断の誤り
□手順・ルールの不遵守　□記録・入力の不備
□スタッフ間のコミュニケーション不足・齟齬　□患者とのコミュニケーション不足・齟齬
□その他（　　）

② ①の背景

ヒューマンファクター

□知識不足　□技術・手技が未熟
□慣れ　□疲労・体調不良などの身体的不調
□心配事などの普段とは異なる心理的状態　□その他（　　）

発生時の状況等に関する要因

□繁忙/タイムプレッシャー　□時間外/夜間/休祝日
□普段とは異なる業務状況　□その他（　　）

環境・設備に関する要因

□医薬品　□医療機器・材料など
□電子カルテなどの病院情報システム　□生体情報モニタ
□施設・設備　□その他（　　）

管理的な要因

□教育・訓練　□手順・ルール
□人員配置　□その他（　　）

患者側の要因（家族も含む）

□不注意　□理解不足
□コンプライアンスの不良　□その他（　　）

再発防止策　※現在の「改善策」と同じです。